

グロース門扉 取付説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工上の注意事項

施工にあたっては次の点をご確認ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、アルミの腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中にアルミの表面に流れないようにご注意ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- アルミ製品等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- 寒冷地では柱を立ててからモルタルを詰めてください。モルタルを入れてから柱を立てますと、柱内部に水が入り凍結破損の原因となります。
- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 養生期間は十分（5日以上）とってください。養生中は動くことの無いようにご注意ください。
- 錠・オートクローザなど他金物の取付けは、各梱包内の説明書をご参照ください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行い、不具合が無いか確認してください。
- みだりに改造しないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

| 絵表示 | 意味 | 絵表示 | ご使用上の注意とお願い |
|-----|--|-----|-----------------------|
| | この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。 | | 「必ず行っていただくこと」を示しています。 |

もくじ

| | | | |
|-------------------------------|---|-----------------------------------|----|
| 梱包明細..... | 2 | 5. 門扉の吊込み..... | 10 |
| 納まり図..... | 2 | 5-1 門扉の吊込み..... | 10 |
| 各部の名称..... | 3 | 5-2 ヒンジの調整..... | 10 |
| 施工前の確認..... | 4 | 6. 吊込み後の作業..... | 11 |
| 1. 門柱部品の取付け..... | 5 | 6-1 落し受けツボの埋め込み..... | 11 |
| 1-1 ヒンジ（持ち送り）の取付け..... | 5 | 6-2 戸当りの取付け..... | 11 |
| 1-2 門柱アンカーの取付け..... | 5 | 6-3 開き止めバンパーの設置（オートクローザ付き門扉）..... | 11 |
| 1-3 オートクローザ台座の取付け（オプション）..... | 5 | 6-4 結線ボックスの取付け（電気錠）..... | 12 |
| 1-4 戸当り門柱部品の取付け（片開き）..... | 5 | 施工工事店様、販売店様へのお願い..... | 12 |
| 1-5 門柱キャップの取付け..... | 5 | | |
| 2. 門扉部品の取付け..... | 6 | | |
| 2-1 ヒンジツボの取付け..... | 6 | | |
| 2-2 キャスターの取付け..... | 6 | | |
| 2-3 落し錠の取付け..... | 7 | | |
| 2-4 錠の取付け（標準錠取付けの場合）..... | 7 | | |
| 2-5 通電金具の取付け（電気錠取付けの場合）..... | 7 | | |
| 3. 門柱の設置..... | 8 | | |
| 4. キャスター用レールの施工..... | 9 | | |
| 4-1 キャスター用レールの埋め込み..... | 9 | | |

注意

- 各ボルト・ビス類は確実に締付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締付けないでください。破損の原因となります。

※この説明書内のイラストは「右勝手・内開き」を表わしています。

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。
また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 取付説明書に記載している部材・部品(ビス含)以外は使用しないでください。

梱包明細

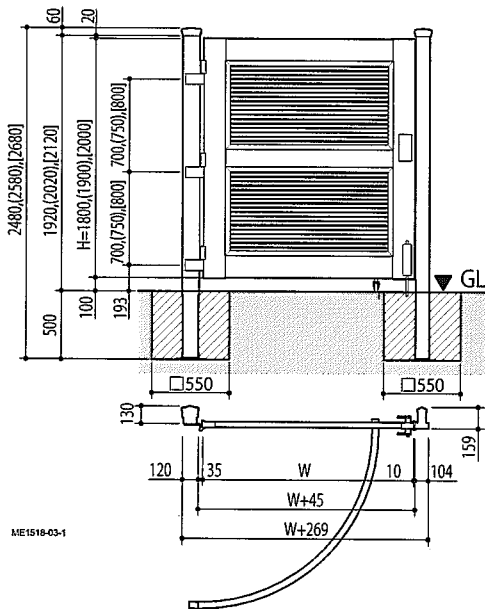
表内の () は個数を表しています。

| 梱包名称 | 梱包内容 | 備考 |
|--------|---|---|
| 門扉 | 門扉本体 (1) | 両開きの場合、2セット |
| 吊元門柱 | 吊元門柱 (1)・門柱アンカーセット (1)・ヒンジセット [3 個入り] (1) 取付説明書 [ME-1518] (1)・門柱キャップ (1) | 両開きの場合、2セット |
| 戸当り門柱 | 戸当り門柱 (1)・門柱アンカーセット (1)・門柱キャップ (1) | 片開きの場合のみ |
| 戸当りセット | 戸当り (2)・戸当りキャップ (右・左各2)・ビスセット (1) | |
| 別売部品 | キャスター部品 | キャスター (1)・M12 用パネ座金 (1)・M12 用六角ナット 2種 (1)・M12 用六角ナット 3種 (1) |
| | 落とし錠セット | 落とし錠化粧板セット (1)・落とし棒 (1)・落とし受けツボ (1)・M5 × 16L トラス小ネジ (4) |
| | レールセット | キャスター用レール (1)・キャスターストッパー (2) |
| | 開き止めバンパーセット | 開き止めバンパー (1)・オールアンカー (1) |

納まり図

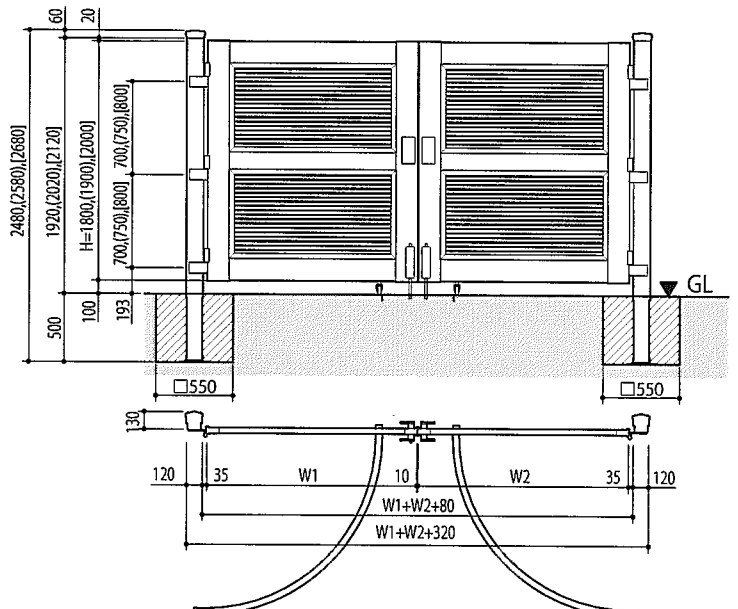
- W= 門扉巾寸法・H= 門扉高さ寸法を示しています。
- () は H=1900 用・[] は H=2000 用を示しています。
- 下記納まり図は W=1600・H=1800 の内観図です。

片開き



ME1518-03-1

両開き

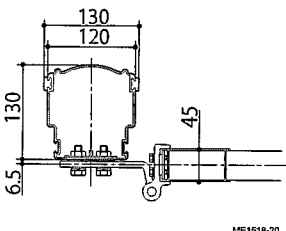


ME1518-04-1

※ W=1500・H=1800 サイズの場合は、キャスターおよびレールは取付きません。
※ 図は内開きの場合を示しています。

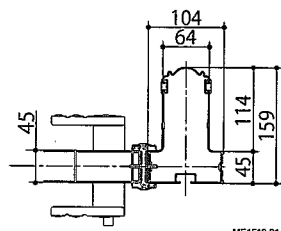
門柱寸法

● 吊元門柱



ME1518-20

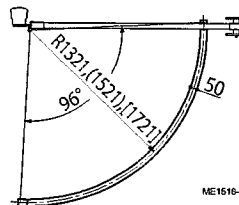
● 戸当り門柱



ME1518-21

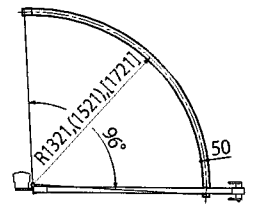
レール寸法

● 内開き



ME1518-48

● 外開き



ME1518-49

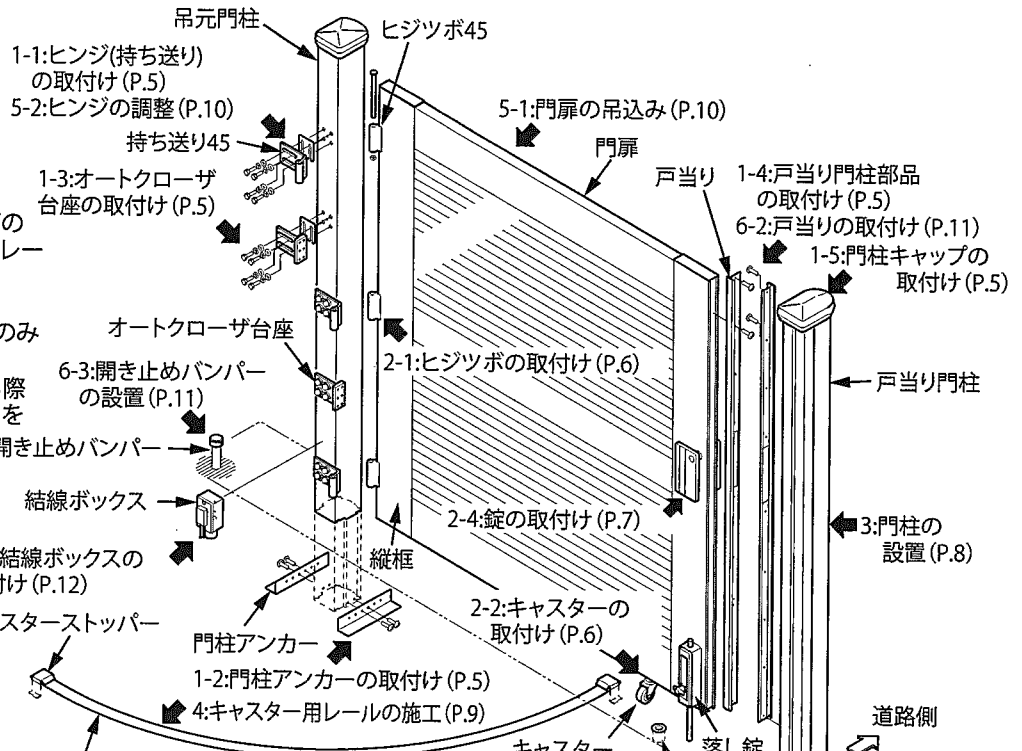
※ () は W=1800 用、[] は W=2000 用を示します。

各部の名称

●組立施工および調整の説明項目を示しています。
 施工作業前にご確認ください。
 ※()内は説明ページを示しています。

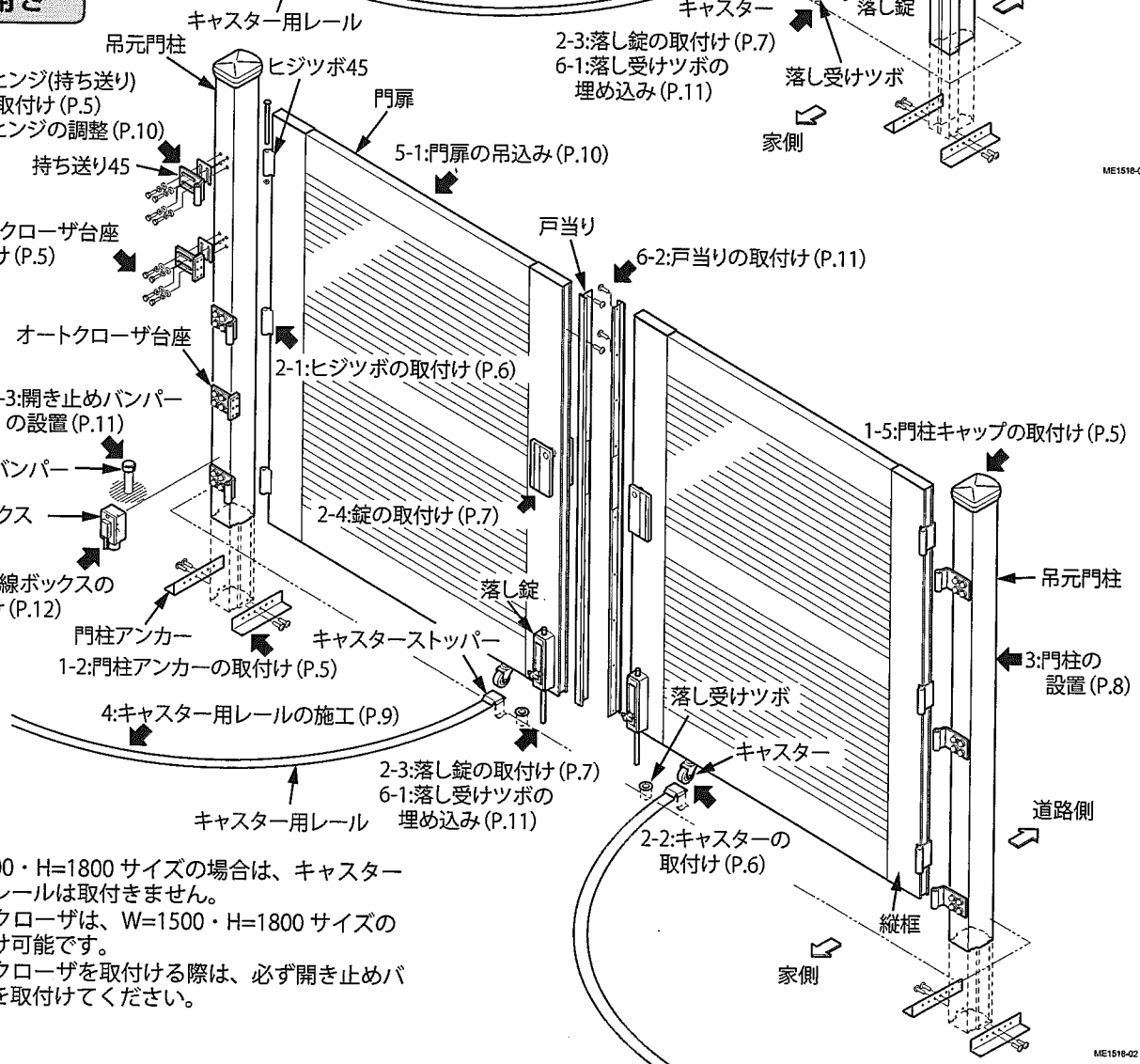
片開き

※ W=1500・H=1800 サイズの場合、キャスターおよびレールは取付きません。
 ※オートクローザは、W=1500・H=1800 サイズのみ取付け可能です。
 ※オートクローザを取付ける際は、必ず開き止めバンパーを取付けてください。



両開き

※ W=1500・H=1800 サイズの場合、キャスターおよびレールは取付きません。
 ※オートクローザは、W=1500・H=1800 サイズのみ取付け可能です。
 ※オートクローザを取付ける際は、必ず開き止めバンパーを取付けてください。



ME1518-01

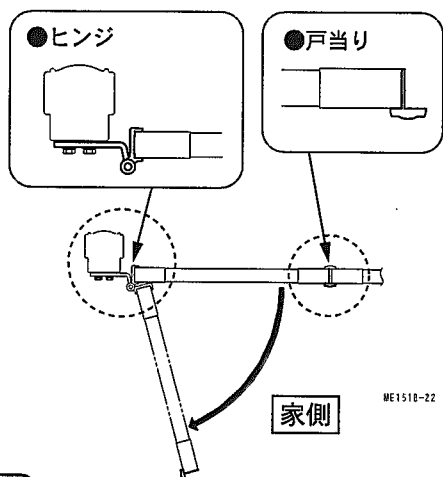
ME1518-02

施行前の確認

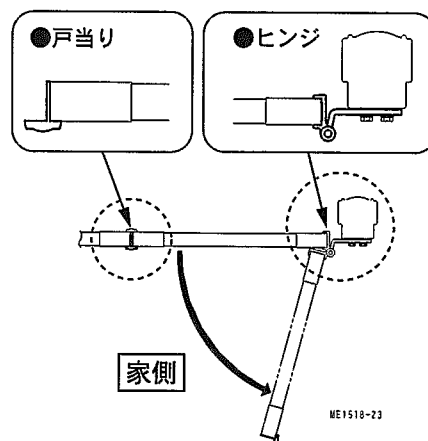
- 施行前に門柱の開き勝手を確認してください。
- ヒンジ・オートクローザ・戸当りなどの取付位置を確認してください。

内開き

■ 右勝手

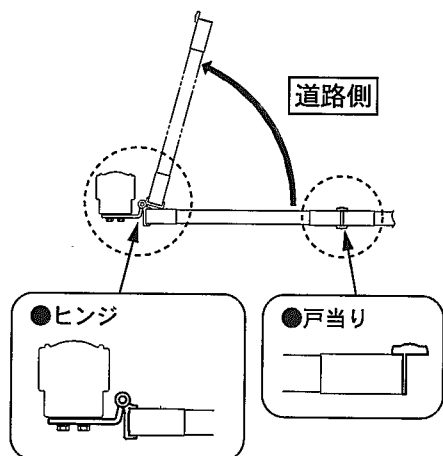


■ 左勝手

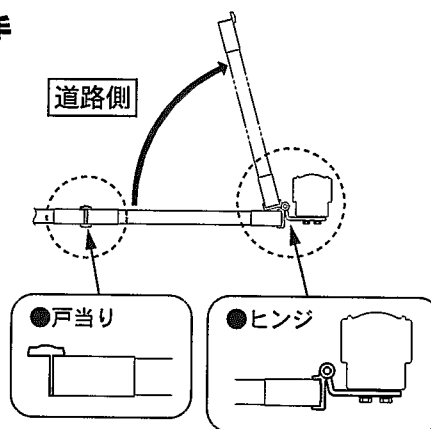


外開き

■ 右勝手



■ 左勝手

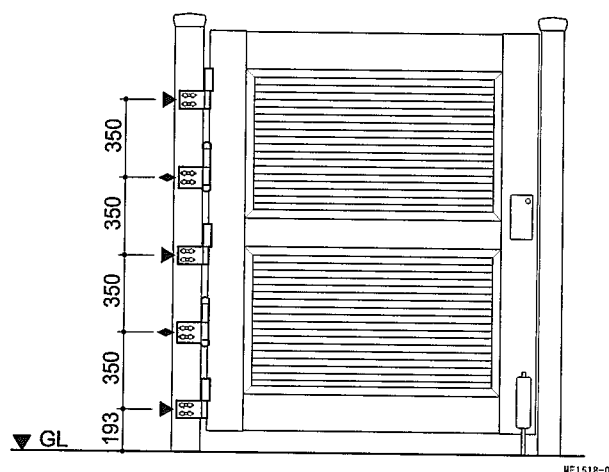


オートクローザ(オプション)の位置確認



オートクローザはオプションです。
W=1500・H=1800 サイズの場合のみ
取付きます。

- ▶ ヒンジ
- ◆ オートクローザ
(両開きの場合は施錠側に取り付きます。)



1

門柱部品の取付け

●両開きの場合は、1-4の施工は不要です。

1-1 ヒンジ（持ち送り）の取付け

■吊元門柱に取付け

①ヒンジが家側にくるように取付けてください。

1-2 門柱アンカーの取付け

■吊元門柱・戸当り門柱に取付け

①門柱の左右に取付けてください。

1-3 オートクローザ台座の取付け （オプション）

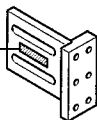
■吊元門柱に取付け



オートクローザはオプションです。
W=1500・H=1800サイズの場合のみ取付け
きます。

① [CB-1121] と刻印されている面が、家側から見
えるように取付けてください。

刻印
[CB-1121]



オートクローザの取付けは、門扉を吊込
み後に行います。
詳細は、オートクローザの説明書を参照
してください。

1-4 戸当り門柱部品の取付け（片開き）

①戸当りには勝手があります。

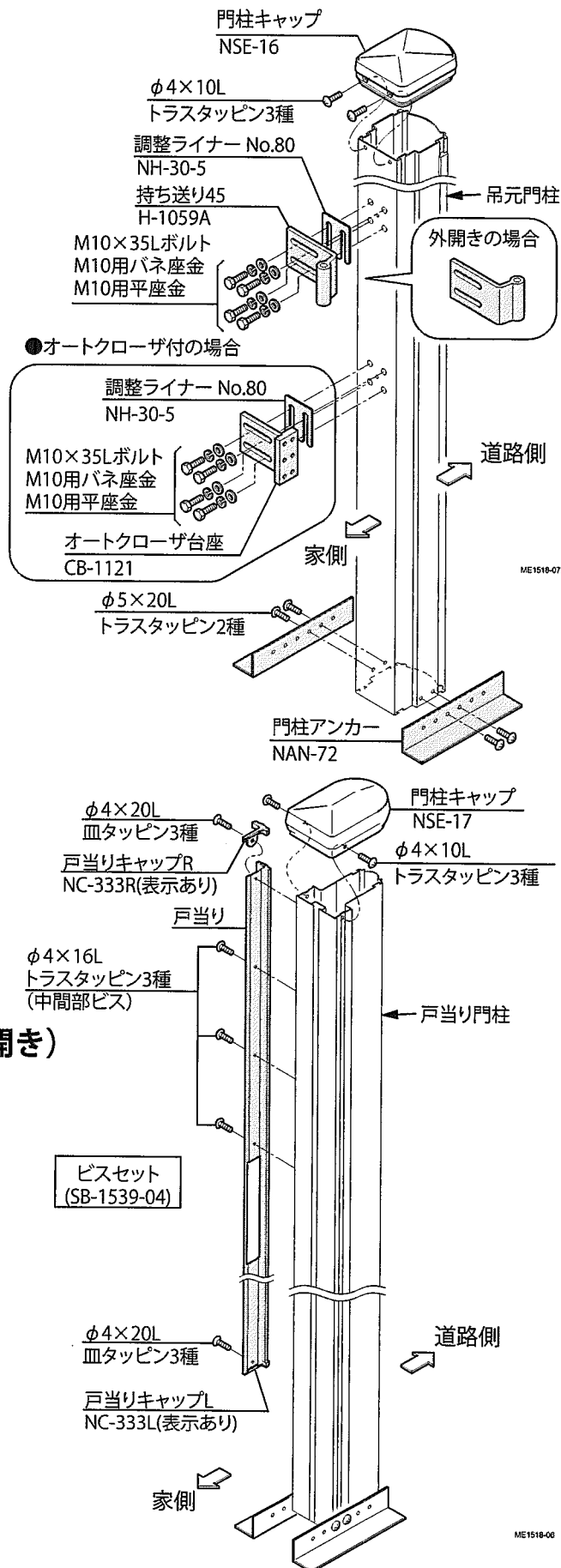
勝手を確認後、ビスセットを使用して、戸当り
を取付けてください。



ビスセット内の皿タッピンビスは、上下
の戸当りキャップ部に使用してください。

1-5 門柱キャップの取付け

①門柱キャップを、吊元門柱および戸当り門柱に
取付けてください。



ME1518-07

ME1518-08

2

門扉部品の取付け



戸当りは門扉の吊込み後に取付けてください。

2-1 ヒジツボの取付け

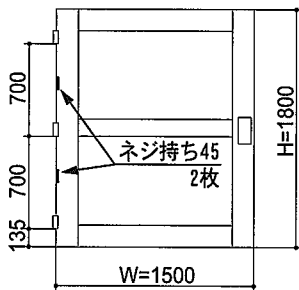


門扉の取付け方向を確認して、吊元側にヒンジを取付けてください。取付け位置は持ち送りに合わせてください。

- ①門扉上部の縦框キャップを取外してください。
- ②ネジ持ちを縦框部に挿入してください。
- ③ヒジツボをネジ持ちに取付けてください。



W=1500・H=1800 サイズで、オートクローザを取付ける場合は、オートクローザ梱包内のネジ持ちを挿入してください。門扉の吊込み後は挿入できません。

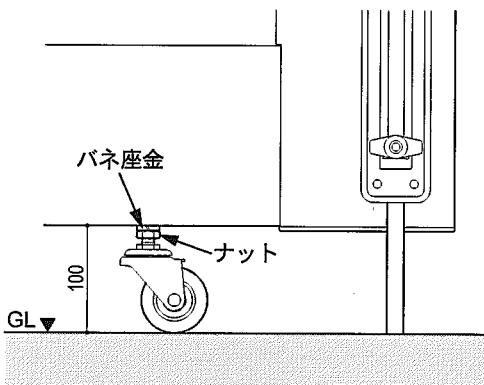


ME1518-08

- ④縦框キャップを取付けてください。

2-2 キャスターの取付け

- ①キャスターを門扉に取付けてください。
- ②GL から門扉下框の下端までが 100mm になるように、高さを調整してください。
- ③高さ調整後、ナットを締付け、固定してください。



ME1518-16

Aから見る

縦框キャップ

M6×20Lボルト
M6用バネ座金
M6用平座金

A

ヒジツボ45
H-159B

ネジ持ち45
NBP-183

外開きの場合

門扉

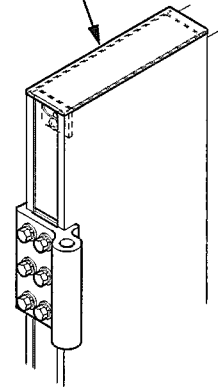
縦框部

道路側

家側

縦框キャップ

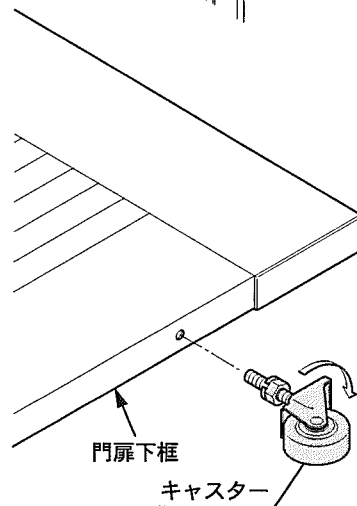
Aから見る



ME1518-09

ME1518-26

ME1518-19



門扉下框

キャスター

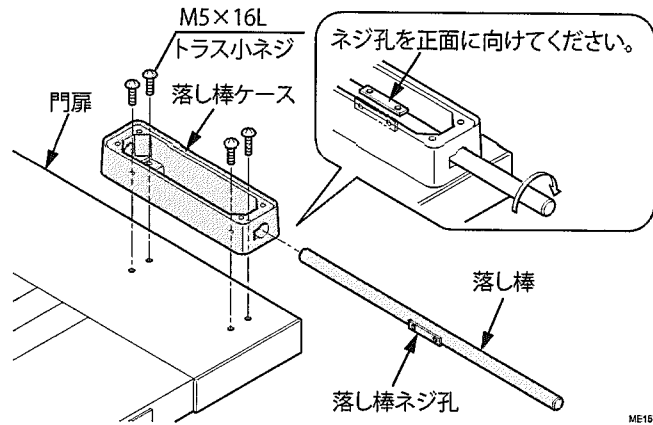
ME1518-15

2-3 落とし錠の取付け

- ① 落とし棒ケースを門扉本体に取付けてください。
- ② 落とし棒を、落とし棒ケース孔に差し込み、ネジ孔を正面に向けてください。
- ③ 化粧板を、落とし棒ケースに取付けてください。
- ④ 落とし棒つまみセットを、落とし棒ネジ孔に取付けてください。



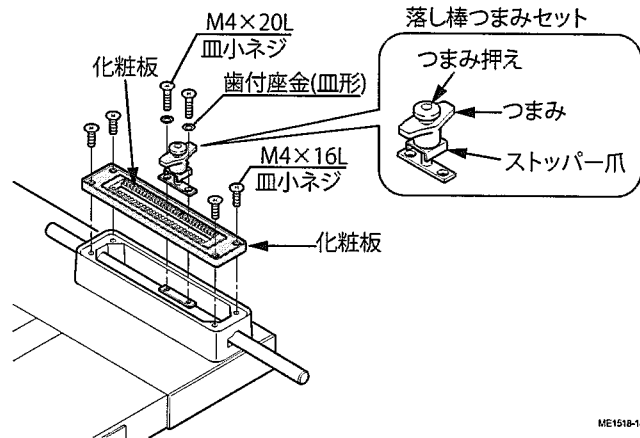
落とし棒つまみセットは、化粧板の溝より、奥になるように取付けてください。



ME1518-17

■落とし棒の操作方法

- ① つまみを手前に引き、ストッパー爪を化粧板の溝よりはずし、落とし棒を上下させてください。つまみから手をはなすと、ストッパー爪が化粧板の溝とかみ合い、落とし棒が固定されます。



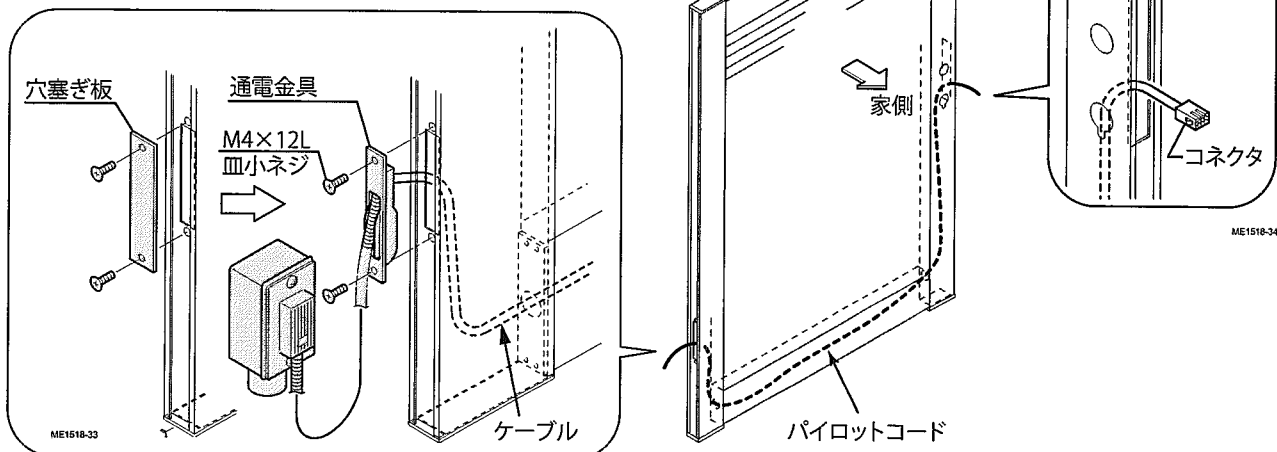
ME1518-18

2-4 錠の取付け (標準錠取付けの場合)

- ① 門扉に錠を取付けてください。
- ※標準錠の取付けは、錠の説明書を参照してください。

2-5 通電金具の取付け (電気錠取付けの場合)

- ① 門扉吊元側の穴塞ぎ板を、取外してください。
 - ② 枠内のパイロットコードを利用して、通電金具のケーブルを錠取付位置まで配線してください。
 - ③ ケーブルのコネクタを錠取付用角穴から出しておいてください。
 - ④ 通電金具を門扉に取付けてください。
- ※電気錠の取付けは、錠の説明書を参照してください。



ME1518-33

ME1518-34

ME1518-27

3

門柱の設置

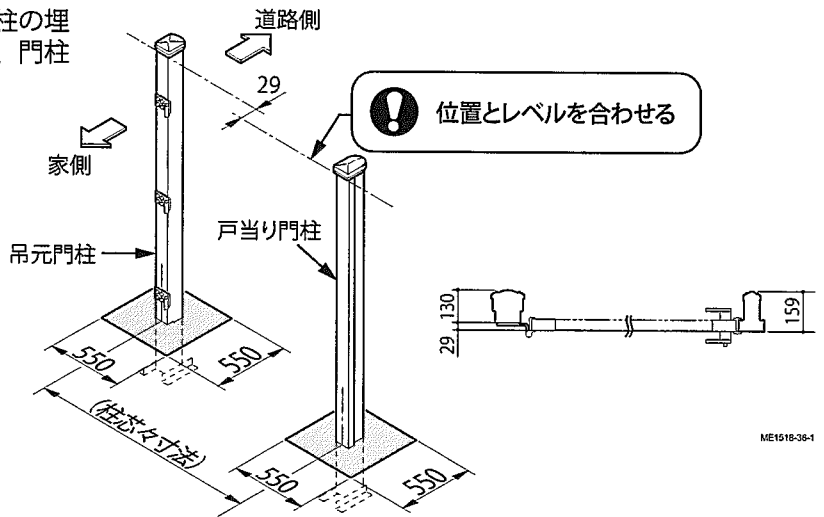
●「納まり図」で巾や高さを確認してください。

門柱に部品を取付けた後、納まり図より門柱の埋め込み位置や基礎寸法、高さ寸法を確認し、門柱を設置してください。

片開き

単位 :mm

| 門扉巾 :W | 柱芯々寸法 |
|--------|-------|
| 1500 | 1657 |
| 1600 | 1757 |
| 1800 | 1957 |
| 2000 | 2157 |



両開き

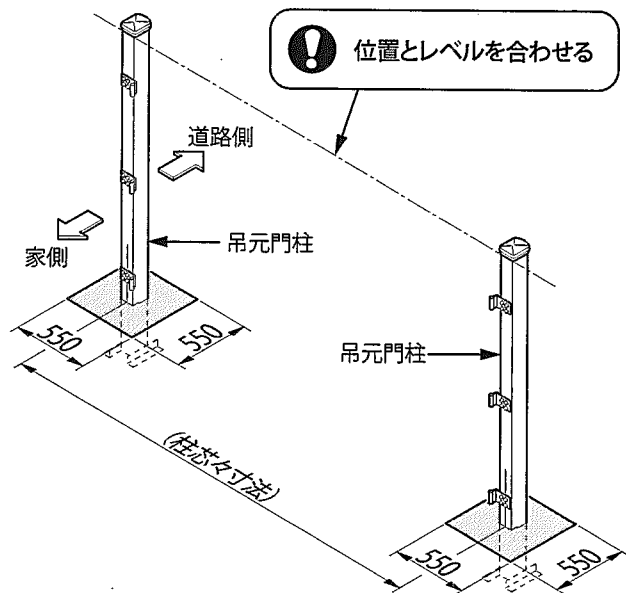
単位 :mm

| 門扉巾 :W | 柱芯々寸法 |
|--------|-------|
| 1500 | 3200 |
| 1600 | 3400 |
| 1800 | 3800 |
| 2000 | 4200 |

⚠注意

レベル合わせを正確に行い、門柱を埋め込んでください。

※レベルが合っていないと、門扉を吊込めなかったり、施錠不良の原因になります。



4

キャスター用レールの施工

4-1 キャスター用レールの埋め込み

■ W=1500・H=1800 サイズ以外

①右図を参考にレールの埋め込み位置を決めてください。

単位：mm

| 門扉巾 | R | A寸法 |
|------|------|--------|
| 1600 | 1321 | 1316.7 |
| 1800 | 1521 | 1516.7 |
| 2000 | 1721 | 1716.7 |

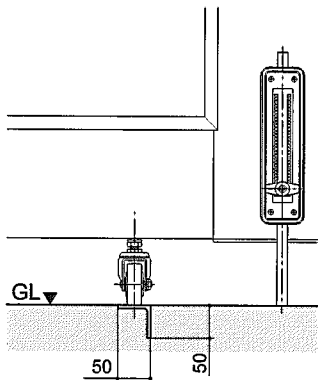


ヒンジの調整により、キャスターおよびレールの中心が、10mm程度ずれる場合があります。

②レールおよびキャスターストッパーを埋め込んでください。



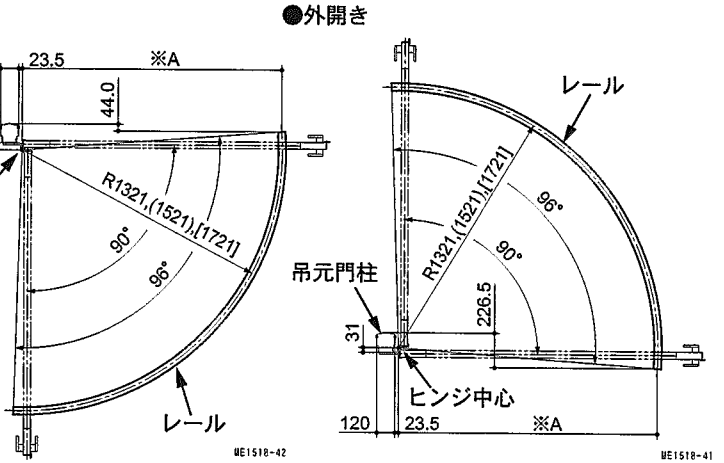
レールはGLとレベルを合わせて埋め込んでください。



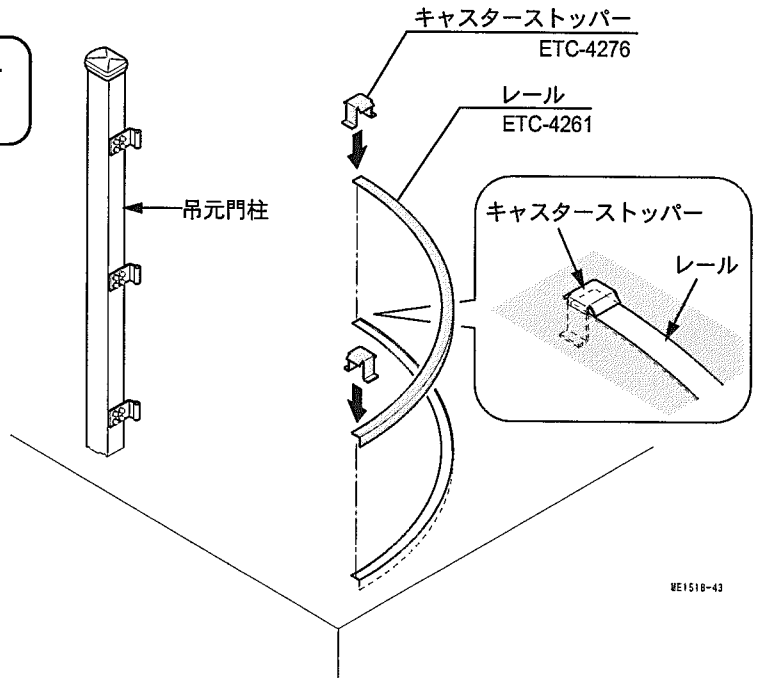
ME1518-44



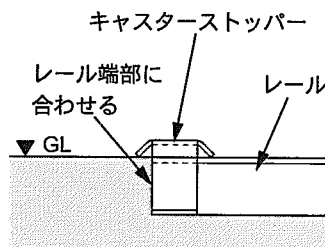
右図を参考に、レールの端部にキャスターストッパーを合わせて埋め込んでください。



※ () は W=1800・[] は W=2000 用を示しています。



ME1518-43



5

門扉の吊込み

5-1 門扉の吊込み

①ヒジツボを持ち送りの上に載せ、ヒンジピンを差込み、割ピンで固定してください。



ヒジツボと持ち送りの間にワッシャを忘れないでください。

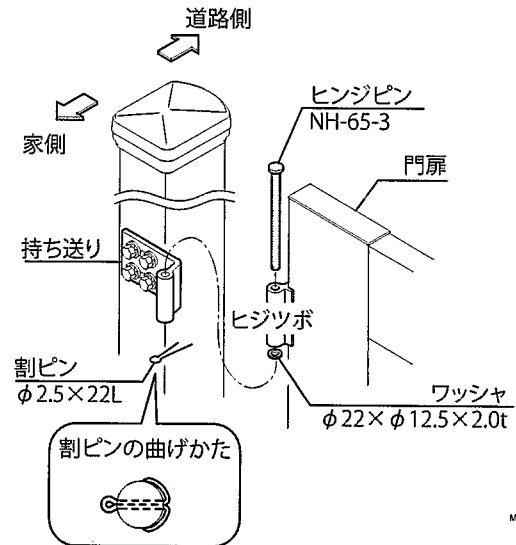
注意

割ピンをヒンジピンに差込み後、必ず先端部をペンチなどで、出っ張りのないように曲げてください。

※突出したままにしておくと危険です。



オートクローザ付きの場合は、オートクローザの説明書を参照してください。



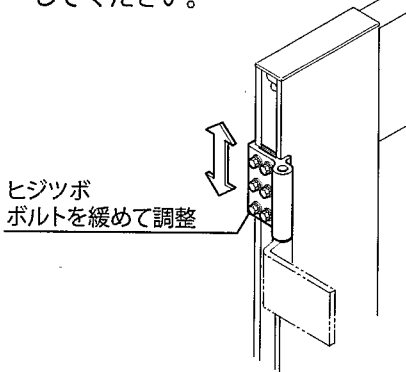
ME1518-28

5-2 ヒンジの調整

各基準寸法や門扉の水準などがそろっているか確認・調整してください。

●上下調整

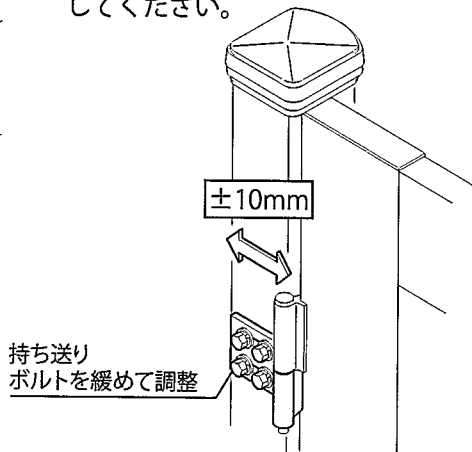
ヒジツボのボルトを緩めて調整してください。



ME1518-29

●左右調整 (調整巾±10mm)

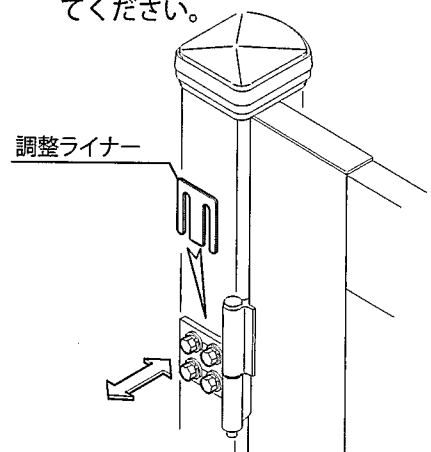
持ち送りのボルトを緩めて調整してください。



ME1518-30

●前後調整 (調整巾2～4mm)

調整ライナーを抜差しして調整してください。



ME1518-31



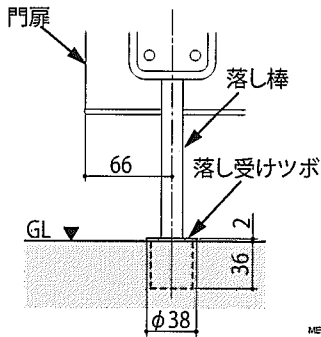
調整完了後、ボルトを締付け、ヒンジを確実に固定してください。

6

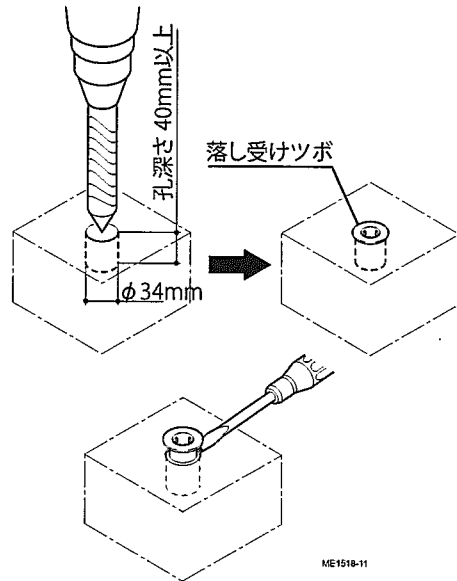
吊込み後の作業

6-1 落とし受けツボの埋め込み

- ① 落とし棒の位置に合わせて、 $\phi 34\text{mm}$ ・深さ 40mm 以上の孔をあけてください。
- ② 落とし受けツボを埋め込んでください。



ME1518-35



ME1518-10

ME1518-11



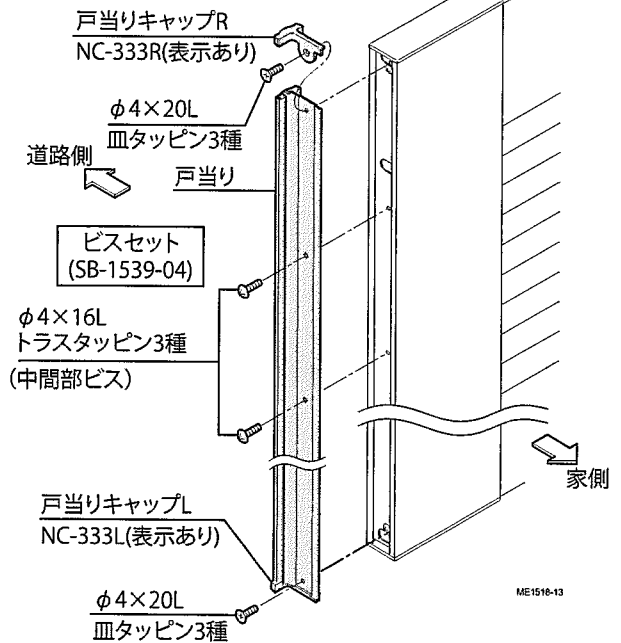
落とし受けツボに砂やゴミが入った場合は、落とし受けツボをドライバーなどで取外して、ゴミ等を取除いてください。

6-2 戸当りの取付け

- ① 戸当りには勝手があります。勝手を確認後、ビスセットを使用して、戸当りを取付けてください。



ビスセット内の皿タッピンビスは、上下の戸当りキャップ部に使用してください。



ME1518-13

6-3 開き止めバンパーの設置 (オートクローザ付き門扉)

■ W=1500・H=1800 サイズのみ

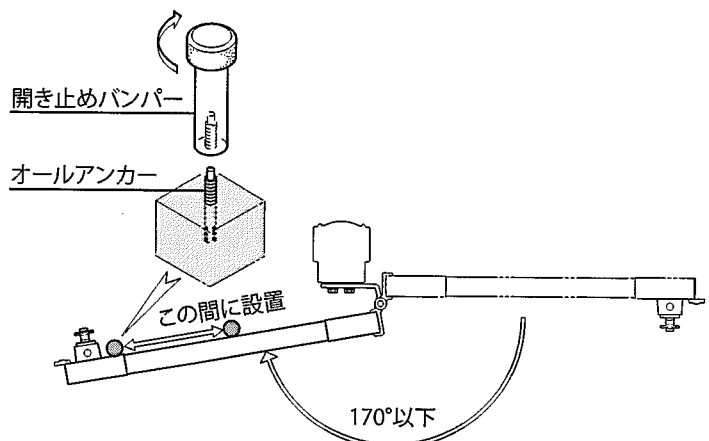
扉を 180° 以上開くと、オートクローザが破損します。

破損を防ぐために、開き止めバンパーを設置してください。

扉開き角度 170° 以下で通行等を妨げない任意の場所に取付けてください。

注意

GL より 120mm 突起しますので、つまづいたりしない場所に設置してください。

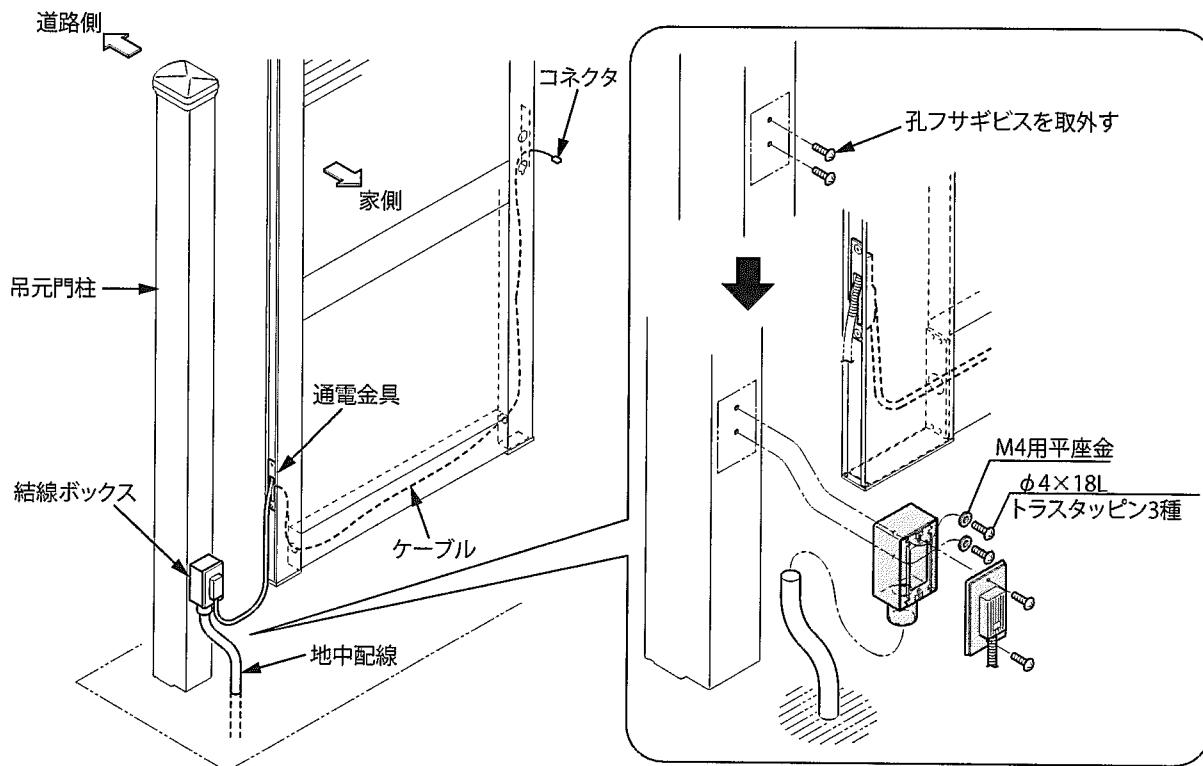


ME1518-32

6-4 結線ボックスの取付け (電気錠)

■吊元門柱電気錠

- ①地中配線を 500mm 程度立ち上げておいてください。
 - ②吊元門柱から、結線ボックス取付位置の孔フサギビスを取外してください。
 - ③結線ボックスを吊元門柱に取付けてください。
 - ④地中配線を図のように配線してください。
- ※結線についての詳細は、電気錠の説明書を参照してください。



ME1516-14

施工工事店様、販売店様へのお願い

—お願い—

- 「お取扱いの手引き」に基づき(同梱されているもののみ)商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

| | |
|-------|-----------|
| 施工完了日 | 年 月 日 |
| 施工工事店 | TEL () - |
| 販売店 | TEL () - |
| 商品名 | |
| その他 | |